

(11)九州



九州地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

前回からの主要変更点

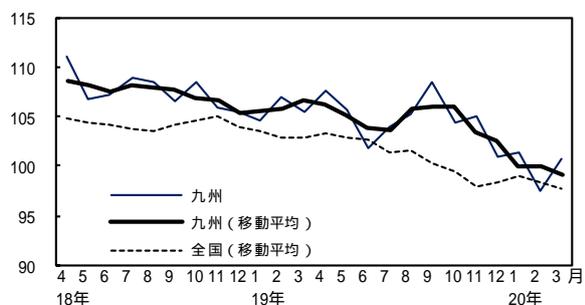
	前回(令和2年3月)	今回(令和2年5月)
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
鉱工業生産	弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

1 - 3月期には、電子部品・デバイスは、トランジスタ等が増加した。輸送機械は、普通乗用車等が減少した。食料品は、減少した。汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置等が減少した。化学・石油石炭製品は、減少した。

鉱工業生産指数



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。九州の最新月は速報値。
2. 全国及び九州の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値ウェイト	生産				
		10 - 12月期	1 - 3月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	13.6	6.4	5.8	7.4	4.7	35.5
輸送機械	13.5	1.0	8.0	4.8	11.9	3.1
食料品	12.2	2.3	0.5	1.3	3.6	0.3
汎用・生産用・業務用機械	12.2	3.9	13.4	10.6	9.1	12.2
化学・石油石炭製品	10.0	3.5	4.0	1.6	11.8	5.6
鉱工業	100.0	2.3	3.5	0.4	3.7	3.2

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1 - 3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数(RDEI(消費))

1月は前月比0.0%減、2月は同1.3%減、3月は同0.8%減となった。

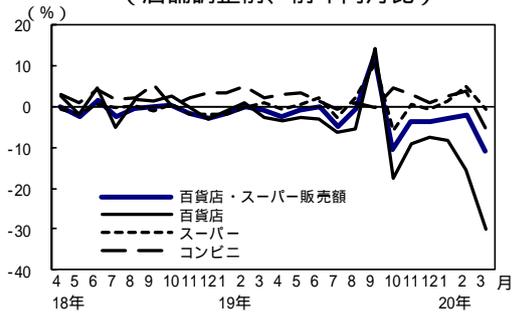
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。2月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。3月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

スーパーは、1 - 3月期は、飲食料品が増加したことにより、前年を上回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI(消費*1)	0.9	0.0	1.3	0.8
百貨店・スーパー(*2)	5.5	2.9	2.3	11.0
百貨店(*3)	18.1	8.4	15.6	30.1
スーパー(*3)	1.7	1.1	5.0	0.7
コンビニ(*3)	0.0	2.3	3.5	5.5
乗用車(*4)	12.6	14.1	12.9	11.4
(季節調整値)(*4)	0.4	0.2	1.2	0.6

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

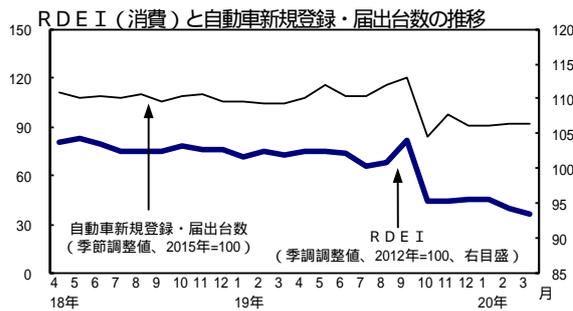
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店、スーパーは沖縄を含む経済産業省の九州の値。

コンビニは、経済産業省の九州・沖縄の値。

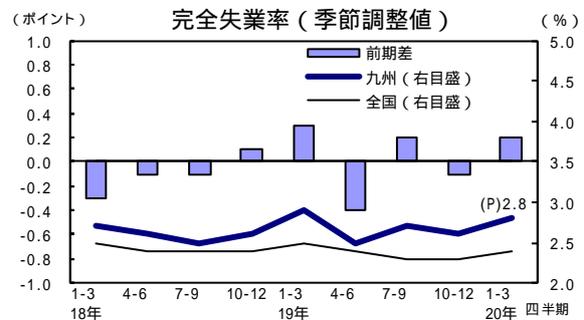
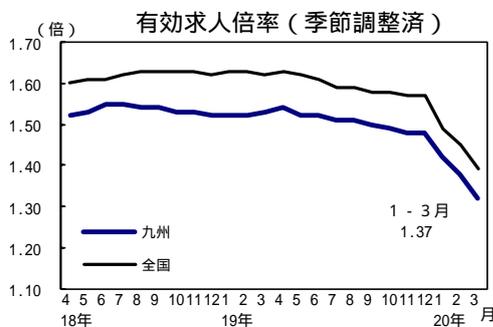
4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年4月調査) 景気判断理由の概要

11. 九州

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計動向関連	×	・新型コロナウイルスの影響で、イベント開催等は全て中止になっている。商談中の客も状況見合せになり危惧している (住宅販売会社)
			・例年、3～5月に病院からの退院増加に伴い、客が増加傾向となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で退院がずれ込み、客からのサービス辞退やキャンセルが相次ぎ、前年実績を下回る結果となっている (その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス])
			・来店客数は、チラシを入れない状態で前年比 95% で推移している。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、まとめ買いが増えており、客単価は 100 円上がっている。また、買上点数も 1.2 個分上がり前年比 102% で推移している。競合店もあるが、平均 110% で推移している (スーパー)
	企業動向関連	×	・旅館や飲食店の需要が激減している (食料品製造業) ・3月までは順調な流れであったが、3月後半～4月に掛け、非常に厳しい状態になり、3～4割の納品となっている。全体の売上が、計画の70%を維持できるか危惧している。このような状態はリーマンショック時にもなく、大変困惑している (農林水産業) ・受注状況に変わりがない (電気機械器具製造業)
雇用関連	×	・5～6月末での派遣終了が増加している。新規の派遣依頼は、キャンセルも含め見直しも出ている (人材派遣会社)	
その他の特徴コメント			：新型コロナウイルスで騒がれている状況であるが、花を自宅に飾ったり、開店祝いのお花であったりなど予想外の注文があり、数か月前よりとても良い状態になっている (一般小売店 [生花]) ×：新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる一方である。全国では、工事の中止が多くなっている。当地では、工事中止はないが、同業者も不安を隠さない。当社から新型コロナウイルスを出さないように、マスクや消毒剤等の支給も実施しており、工事を止まることに懸念している (建設業)
先行き	家計動向関連	×	・新型コロナウイルスの影響で、かなりの経済的打撃がある (乗用車販売店)
			・長引けば、生き残ることが難しくなり、新型コロナウイルスが終息することを望んでいる (商店街)
	企業動向関連	×	・緊急事態宣言の解除次第となるが、当初予定どおりの運営は、難しいと判断している (金属製品製造業) ・新型コロナウイルスが終息しないことには、今の状況が変わるとは考えられないため、かなり厳しい状況である。2か月程度で落ち着くことを望んでいる (経営コンサルタント)
	雇用関連	×	・緊急事態宣言等により、企業活動を縮小せざるを得ない状況が続いており、今後の見通しも不明である (職業安定所)
その他の特徴コメント			×：日本で新型コロナウイルスが終息に向かっても、諸外国も同時に終息しない限り、先行き不透明な状況が続く。そのため、国内観光業の消費者支出が予測できない (旅行代理店) ×：現時点では、客からの生産計画で当初の計画と比較すると、4割減の影響が予測されている (輸送用機械器具製造業)

(DI) 現状・先行き判断DI (九州) の推移 (季節調整値)

